

主な業務の執行状況

	件名	執行状況・経緯	内容
1	日本原燃への使用済燃料再処理役務等の委託に関わる事項	<p>① 契約履行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月11日 回収物質貯蔵管理状況（再処理）の現地確認 ・9月25日 品質保証活動について日本原燃から聴取 <p>② 事業変更許可補正申請に係る取組み確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月25日 再処理施設等の今後の審査対応の見通し等について日本原燃から聴取 	<ul style="list-style-type: none"> ・再処理の回収物質（ウラン酸化物、ウラン・プルトニウム混合酸化物）を対象に、貯蔵管理状況の現地確認を実施。現場確認（中央制御室、貯蔵室）を実施するとともに、日々の貯蔵管理や定期的な検査等が適切に実施されていることを検査記録や日誌にて確認。 ・日本原燃から、以下の取組み等について確認。 <ul style="list-style-type: none"> - 7月初めから10週間程度の保安検査を検査官のフリーアクセスにより実施。 ・機構としては、引き続き、日本原燃の保安規定違反の再発防止対策を含む改善活動の取組状況を確認するとともに、確実な実施を促していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本原燃から、以下の取組み等について確認し、しゅん工に向けた許認可への対応や工事の計画的な実施に加え、保守管理の強化や技術力の向上等、安全・安定操業に向けた取組みについても計画的に進めていくよう促した。 <ul style="list-style-type: none"> - 8月1日、26日、9月11日、25日の審査会合（施設側）にて説明を実施。 - 8月21日の原子力規制委員会にて、航空機落下確率評価等の審査方針を了承。 - 8月9日、9月18日の審査会合（地盤側）にて、出戸西方断層の追加調査（5月～7月ボーリング調査）を踏まえた敷地周辺陸域の活断層評価について説明。 - 10月3日、4日に、原子力規制委員会による出戸西方断層の地形や露頭調査、ボーリングコア観察等の現地調査を予定。 ・機構としては、原子力規制委員会への対応状況を注視していくとともに、都度、しゅん工に向けたスケジュールや取組みを工程管理の一環として確認していく。